

新着図書からおすすめの5冊

(平成24年4月3日掲載)

貸出と予約の開始は**4月3日(火曜日)**、インターネット予約の開始は**4月10日(火曜日)**です。

『ジャーナリズムの行方』

山田 健太 著

三省堂 刊

放送・新聞・出版等の伝統メディアに期待されてきたジャーナリズム性とは何か。東日本大震災後、あるべきジャーナリストの姿とは。メディアの社会的役割とその可能性を探る。「新聞労連検証会議報告書(抄録)」も収録。著者紹介：1959年京都市生まれ。専修大学文学部人文・ジャーナリズム学科准教授。専門は言論法、ジャーナリズム論。日本ペンクラブ・言論表現委員会委員長。著書に『法とジャーナリズム』など。

請求記号：070.2/Y,19

『怒りの作法』

小川 仁志 著

大和書房 刊

思考停止は許されない時代、ことば数を少なくして生きる日本人の難点とは？正しい怒り方、いわば「怒りの作法」について哲学の知見から指南し、キレるのでもなく、また我慢するのでもない理想の第3の生き方を提案する。

著者紹介：1970年京都府生まれ。名古屋市立大学大学院博士後期課程修了。博士(人間文化)。哲学者。徳山工業高等専門学校准教授。商店街で「哲学カフェ」を主宰。専門は公共哲学・政治哲学。

請求記号：104/O,24

『そして生かされた僕にできた、たった1つのこと』

ダン・カロ 著

ダイヤモンド社 刊

指のないお前には無理だ、と笑う人がいても、決して希望を失わず、プラス思考を心がけた…。不慮の事故に全身を焼かれ、壮絶な差別や偏見と闘いながら、夢をかなえた少年の、「人に不可能はない」ことを証明した、魂の手記。

著者紹介：1979年米国生まれ。2歳の時に事故で全身に重度の火傷を負い両手の指を失ったが、プロドラマーとなる。自己啓発の講演者としても活躍。北米シュライナーズ大使。

『21世紀の新型うつ病』

福西 朱美 著

ぎょうせい 刊

好きなことは進んでやるが、嫌なことは避けようとする。「自分うつだ」と公言する、被害者意識で周囲を責める…。急増するそんな「新型うつ病」とどう向き合い、どう対応するかを、日々診療を行う専門家が解き明かします。

著者紹介：国際医療福祉大学大学院卒。医療法人社団真貴志会理事、南青山アンティーク通りクリニック・南青山カウンセリングセンターセンター長。心理カウ

請求記号：289.3/C,21

『バイオマス本当の話』

泊 みゆき 著

築地書館 刊

世界でも日本でも、最も多く使われている再生可能エネルギーであるバイオマス(生物由来の有機資源)。独立した立場で調査研究、政策提言をしてきた著者が、バイオマスの適切な利用と持続可能な社会への道筋を示す。

著者紹介：京都府出身。日本大学大学院国際関係研究科修了。NPO法人「バイオマス産業社会ネットワーク」理事長。森林総合研究所外部評価委員。著書に『地域のかで自然エネルギー！』など。

請求記号：501.6/TO,49

ンセリング業務、臨床研究、心理相談等を行う。

請求記号：493.7/F,79

※本の内容紹介は、図書館流通センター(TRC) MARCより引用しました。

→ [バックナンバーはこちら](#)

→ [新着図書の一覧はこちら](#)

→ [インターネット予約・貸出についてはこちら](#)

[資料紹介へ戻る](#)

[佐賀県立図書館のトップページへ](#)